



酒の神様「松尾様」と蔵内の様子。酒蔵見学は事前申込で対応可(所用約20分)

上野地区の中心部でひとときを引く瓦屋根の建物。国の登録有形文化財に指定された吉野酒造の酒蔵は、上野のランドマーク的存在だ。創業は天保年間(一八三〇)。蔵の近くにある横井戸(横穴式洞窟)に、保有する山の自然水(軟水)を引き込んで、同蔵の酒「腰古井」が造られる。また、米の縦幅を横幅よりも磨く「扁平精米」を自社で行う。雑味の元となる部分を磨き、有用なデンプン質を残す技術だ。こうして生み出される酒は口当たりがよく、軽やかに芳香が漂う。

手作業で梅のヘタを取り、贅沢にも純米大吟醸で仕込んだ「うめ酒」は渋みがなく舞い上がるような芳香さ。毎年秋に蔵出しされる

吉野酒造の風格ある佇まい。写真の酒蔵のほか、店舗兼主屋、煙突、土蔵、旧馬屋などが国の登録有形文化財の指定を受けている



7 map 2-B

【吉野酒造】  
8:30-17:00 (日曜祝日は10:00-17:00)  
第3日曜休  
勝浦市植野571  
☎ 0470-76-0215



Bon Festival dance  
UENO noodles  
GUIDE MAP  
Sake Brewery Ueno



千葉・房総  
勝浦市

# 上野

Katsunura Local Press No.3

TAKE FREE

## 多吉の天ぷらうどん



UENO  
noodles

上野の麺類

3 map 2-B 【手打ちうどん 多吉】  
11:00-14:00 (金土日は17:00-21:00も営業)  
月曜休 勝浦市上野568 ☎ 0470-64-6515

路傍にはためく幟を目印に、田んぼを突っ切る道を進んで行くと、忽然と現れる店舗。こんな田んぼのど真ん中に!? と一瞬ためらうが、多吉の瀧口正彦さんがこやかに出迎えてくれる。店に入ると目に留まるのがうどんの手打ち台。奥様の智子さんが女流職人として日々うどんと向き合っているのだ。温と冷などメニューの種類によって茹で方を調整し、いずれのうどんからも心地良い弾力が口の中に伝わってくる。実に絶妙なコシ。そして、清澄で繊細な香りを漂わせるツユは、そば湯感覚でダシを入れて飲んで味わえる。田圃を眺めながら食後のこの一杯は格別!



コシのある手打ちうどん

少し分かりにくい所がありますが、田圃に囲まれた気持ちのいい場所です。「上野の食堂」感覚で、気軽にお立ち寄り下さい!

瀧口正彦さん、智子さんご夫妻



- おしながき
- ざるうどん 550円
  - かけうどん 550円
  - 天ざるうどん 950円
  - 天ぷらうどん 950円
  - 多吉タンタンカレーうどん 1000円(限定5食)

## 味翔の豆腐タンタン麺



1 map 1-A 【大衆割烹 味翔】  
11:30-14:00、17:00-21:00 月曜休  
勝浦市植野1443-10 ☎ 0470-76-3746

深みを帯びた赤いスープから、やみつきになる辛さとうま味がグッと迫る。勝浦のご当地グルメ「勝浦タンタンメン」を当初、まかないとして作っていた味翔。ある時、常連さんに食べてもらったところ「うまいから店でも出せばいいじゃん」と太鼓判を押してもらったことから晴れて表舞台へ。十年來親しまれるこの看板メニューに、現在はややマイルドな味わいの「豆腐タンタン麺」も加わった。一方、創業17年になる味翔の真骨頂は「地魚」だ。「自然相手だから思い通りに新鮮な魚を仕入れるのが難しいけど、逆にそこが面白い」と、店主の渡邊輝樹さんの目が光る。



地魚もおいしい!

おいしい地のものをいっぱいお出しできるようにしたいですね。最近はずき揚げと刺身のセットも人気ですよ!

渡邊輝樹さん、三重子さんご夫妻



- おしながき
- タンタン麺 820円
  - 豆腐タンタン麺 870円
  - あじたたき定食 970円
  - 海鮮丼 1230円
  - 刺身盛合わせ定食 1230円

## 慈眼寺の盆踊り大会



8 map 2-B 【福聚山 慈眼寺】  
植野491 ☎ 0470-76-1602  
※盆踊り大会は毎年8月11日に開催

慈眼寺住職 遠山栄龍さん



「十分の一しか来てません〜!あと九割の上野の人、来て下さい〜!」と慈眼寺住職の遠山栄龍さんが絶叫すると、すかさず盆踊りDJの松崎栄二さんが「街頭宣伝じゃないんだから」とツツコミを入れ、カセットテープをセット。境内に流れる上野小唄や勝浦音頭、勝浦シャンソンに合わせて、老若男女、こやかに踊り始めた。

実はこのお寺の盆踊り、三〇年以上途絶えていたが、檀家さんから「またやっぺよ」と声があがったのをきっかけに、祭りの囃子方の若者メンバーが奮起し、二〇一四年、復活に漕ぎ着けたのだ。露店を切り盛りする若者たちはちびっ子たちの人気者。盆踊りのトリに囃子と太鼓を披露して、会場を大いに沸かせた。

蟬時雨が山向こうに過ぎゆき、夜の帳が下りた頃……寺のシンボルの大カヤを取り囲む踊り手。その光景は幽玄さに満ちている。「涼しい風ですね。カヤの木が喜んでるんじゃないかな」。DJが、昔の楽しかった盆の記憶を目の前の余情の中に蘇らせた。

はい、はい、やさそびが出来たようですね、



盆踊りDJ 松崎栄二さん





4  
至養老溪谷、  
大多喜市街

500m

3  
至上総中野、  
大多喜市街

2

1  
至 R297、  
大多喜市街

至内浦山県民の森



13 勝浦ダム



寂光寺辺りの風景



11 寂光寺の大椎



香取神社秋の例祭 (写真は吉野酒造前)



2 六ツ雁の滝



9 香取神社の龍の彫物。四代目伊八の弟子が製作したと云われる

明治22年の町村制施行で生まれた海側の勝浦村(後の勝浦町)、豊浜村、清海村(後の興津町)、山側の総野村、上野村が戦後合併して誕生した勝浦市。その旧上野村地域が現在のの上野地区です。鴨川市小湊にある日蓮宗総本山、誕生寺へ至る街道筋として栄えた上野には宿が立ち並び、複数の醤油蔵が存在したと云います。現在は吉野酒造の酒蔵が歴史ある風景を残し、慈眼寺や寂光寺では見事な巨木が数百年もの昔から立ち続けています。勝浦の海辺とは打って変わり、上野を流れる夷隅川流域にはのどかな田園が広がり、収穫の頃には米をはず掛け(天日干し)する農家さんも。この豊かな里山もまた、勝浦の風景なのです。



車: car  
 アクアライン・圏央道 R297・県道82 上 約1時間55分  
 京葉道路・館山道 R297・県道82 野 約2時間25分

- 【大衆割烹味翫】 1 map 1-A 中面記事参照
- 【六ツ雁の滝】 2 map 1-A 江戸時代中期にできたと言われる滝で、別名「雨降滝」とも。足場が良くないため見学の際は足元にご注意を
- 【手打ちうどん多吉】 3 map 2-B 中面記事参照
- 【湧き水と薬師様】 4 map 2-B 慶長年間、大多喜城主本多忠朝公が、祀られていた薬師如来に側室の眼病平癒を祈願し、側に湧いていた水で目を清める。平癒後、新たに薬師如来を祀る精舎を建てたのが慈眼寺の始まり。現在、湧き水の畔に祠が佇む
- 【朝日屋】 5 map 2-B 上野の魚屋さん
- 【渡辺精肉店】 6 map 2-B 上野の肉屋さん
- 【吉野酒造】 7 map 2-B 「腰古井」で知られる造り酒屋。登録有形文化財指定建物群は見事。裏面記事参照
- 【慈眼寺】 8 map 2-B 市指定天然記念物の大カヤが境内を見下ろす。樹齢は五百年以上とも。若い住職夫妻がハロウィンや浴衣着付教室、餅つきを行ったりとユニークな寺。復活した盆踊りについては中面記事参照
- 【香取神社】 9 map 2-B 毎年十月第二日曜日に例祭が行われ、神輿や山車が練り歩く。社殿の彫物も見事
- 【興津城址】 10 map 2-C かつてこの場所に興津(興津)城が築かれた。別名「ゆうげの城」とも
- 【寂光寺】 11 map 3-C 境内には県の天然記念物に指定された、樹齢七〜八百年と云われる大椎が。樹高二四メートル、幹回りは七・三メートルにも及ぶ
- 【みずほ学園】 12 map 4-A 毎年六月にみずほ祭りを開催
- 【勝浦ダム】 13 map 4-A 夷隅川最上流部にあるダム。周囲は水源かん養保安林(国有林)が広がる

熊野神社

177

妙久寺

緑風苑

177

128

三井の森 ミレーミア

ホテルブルーベリー  
 ヒル勝浦

テルムマランパシフィック

至安房鴨川駅

至小湊、鴨川市街

守谷海岸

興津海岸

至勝浦駅

東急ハーヴェスト  
 クラブ勝浦

かんぼの宿

